



ももたろうくん

ももたろう通信



発行日：2022年3月30日
発行：社会福祉法人つどいの家 グループホーム
発行責任者：飯田克也（グループホーム管理者）
住所：〒984-0823
仙台市若林区遠見塚2-16-15（ピポット若林）
連絡先：022-282-4671

※ももたろう通信の由来：仲間と助け合い、共に作る広報誌

私達は仲間と協力して生活しています

バレンタインデー



バレンタインのチョコ作り!渡す相手は秘密です♡



& ホワイトデー



チョコタルトを調理中～

管理者より

12月法人内で実践発表会を行いました。実践発表会は法人内の日常の事業所の取り組みを伝える機会（動画）となっています。グループホームでは、世話人の仕事を広く知ってもらうために『世話人の仕事』をテーマに世話人に密着し、普段の仕事の様子を伝えました～通院の様子、調理、ミーティング、入居者の外出（お墓参り）、入居者へのインタビュー、世話人への一問一答等。



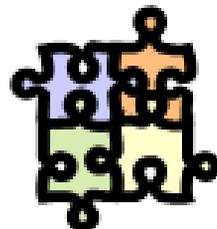
入居者の生活を支える世話人は一番身近な存在として、入居者の最新かつ詳細な情報を見聞きし、伝えるスタッフです。今回密着した世話人は世話人の役割について「毎日のことなので入居者の方々が安心して過ごせるような場所にする＝わたし、世話人の役割」と語っています。こうした役割ができるように日々の入居者の生活を支えていきたいと思っています。

新型コロナウイルスが猛威をふるっています。日々感染拡大防止に努めていますが、1月末当法人のグループホームで感染の拡大がありました。通所事業所での感染者発生後、グループホーム入居

者に感染が見られました。入居者のなかには呼吸状態が安定しないため、救急搬送される方もいました。感染の拡がりはとても早く、入居者だけではなく、支援者へも拡大し、グループホームの支援体制が困難となる状況になりました。保健所等の助言に基づきグループホーム等をゾーニング（感染防止のための区域分け）し、法人内の短期入所事業所等も使用しながら、法人全体でサポートを行いました。最終的に療養解除となるまでに約20日間を要しました。新型コロナウイルスはいつどこで感染するか分からない状況にありますので、今後も日々の感染対策を十分に行っていきたいと思っています。

ゾーニング期間中には入居者ご家族の方々、仙台市の行政の方々、宮城県看護協会新型コロナウイルス相談窓口の方等多くの方にアドバイス、励ましをいただき、乗り越えることができました。

（グループホーム管理者 飯田）



入居者大集合オンライン



昨年10月30日に日本グループホーム学会仙台大会のメンバーが集い、入居者大集合仙台版がオンライン（ZOOMを使用）で開催されました！

にじいろ入居者Sさんの「最近みんなどうしていますか？久しぶりにお話しませんか？」という呼びかけに市内のグループホームに住んでいる8名の方がオンラインで集まってくれました。

近況をそれぞれお話ししたり、新型コロナウイルスで困っていることとお話ししたりとなかなか会えなかった時間の過ごしをお互いに共有することができました。

お話しも盛り上がりましたが、最後に楽器生演奏に合わせてみんなで手拍子をしつつ、「上を向いて歩こう」を大合唱してさらに盛り上がり閉会となりました。

なかなか気軽に対面でお会いすることが難しい状況が続いていますが、次はぜひとも「対面」での交流したいですね！

（記：佐藤靖志）



グループホーム紹介～オキーノ編～



😊とても笑顔が魅力的なHさん

Hさんは言葉を発する事は難しいですが、個性的な発声「バババ」や身振り、手振り等でコミュニケーションを取っています。
特に笑顔がとても素敵で「楽しい」「美味しい」などの気持ちを強く表現してくれます。

Hさんの笑顔に日々職員は癒されています!(´▽`)
そんな素敵なHさんの様子を紹介します。

😊「楽しい！」

Hさんは手遊びをした際に職員が同じように手遊びを真似すると笑ったり、手遊びを嬉しそうにしています。
そのほかにもマイコップをテーブルに「コンコン」とやる仕草を職員が真似したり、動く人形で一緒に遊んだりすると嬉しそうに笑ってくれます。(笑)



😊「美味しい！」

食べる事が大好きなHさん。
特に甘い物が好きです。
(ケーキやチョコレート等)
食事中はもちろん食べる前後でも満面の笑みが続きます。

誕生日ケーキを
見つめるHさん

とっても笑顔が素敵なHさんです!(^^)!

(記：高階誠伸)

～ありがとうFさん～

去る2022年1月8日、ひかりはうす入居者のFさんが天国へ旅立ちました。満51歳でした。

Fさんは楽器の演奏や食べることが大好きで、常に皆の輪の中心でした。今でもひかりはうすメンバーのKさんやOさんは「Fさんは和菓子が好きだったよね!」、「これ、Fさんの形見分けのお洋服だよ」と想い出話に花を咲かせています。私自身、つどいの家に入職して初めて支援に関わった利用者のひとりがFさんでした。仙台空港やディズニーオンクラシック外出など、特別な時間もたくさん共有させていただきました。

昨年末から体調を崩し、通院と服薬による治療に一生懸命向き合ってきたFさん。天国でのびのびと笑顔で過ごされていることを願って止みません。

心よりご冥福をお祈りいたします。

(記:伊達直美)



ひかりはうす

マッスルスーツ&除菌脱臭機、ポータブル電源を 購入しました!



この度公益財団法人JKA様の補助金でポータブル電源と除菌脱臭機、仙台市障害福祉におけるロボット等導入支援事業費補助金でマッスルスーツ(介助用スーツ)を購入させていただきました。

普段の介助を行う際やコロナ禍、災害時にとっても役に立つものをご購入することができました。しっかりと活用していきたいと思っております!! 本当にありがとうございました。(記:村上泰庸)

【編集後記】

グッバイ2021年度。いらっしゃい2022年度。皆さんそれぞれ色々なことがあったと思います。グループホームも仲間との別れ、コロナ禍での対応…とても濃い日々でした。色々な思いを抱えて年度末を過ごし、気がつけば新年度。季節も移り変わり春を迎えようとしています。つらくて大変な時期もありましたが、暖かくなり桜が咲くとどこかホッとしますよね。後悔するのではなく、前を向こうという気持ちにさせてくれる季節だと思います。また一步、みんなで前進する、そんな一年にしていきたいと思います。(記:佐藤亜矢)